学校番号	304

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「家庭基礎」自立・共生・創造　（東京書籍）						
副教材等	生活学 Navi　資料＋成分表　（実教出版）、家庭基礎学習ノート						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自分を取り巻く家庭生活に関心をもち、家庭や地域での実践活動に積極的に取り組みましょう。
・生活の様々な課題を、ワークショップや実習を通して考え、理解を深めます。また、身に付けた知識を、生活に生かしましょう。
・討論などから友達の多様な考えを知り、自分の考えや価値観を確立しましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた技術を身に付けます。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、生活改善につなげます。

２　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭および福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭および福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭および福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭および福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。ホームプロジェクトや学校家庭クラブとして実践できる。	人の一生と家族･家庭および福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的･基本的な知識を身に付けている。特に契約や消費者の仕組みについて理解している。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表、レポート、発表、自己評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表、 レポート、発表、 定期考査の結果、 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 製作品　観察記録表 レポート、発表、 定期考査、実技テストの結果、 自己評価･相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表、 レポート、発表、 定期考査の結果等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	自分らしい人生を作る	○　家庭科の学び方 ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ○　自分を見つめる ＊自立とは ○　人生をつくる ＊ライフスタイルを考える ○　家族・家庭を見つめる ＊家族のあり方 ＊家族と法律 これからの家庭生活と社会	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:青年期の生き方と家族に関心をもち、意欲的に取り組める b:自分を見つめ、青年期の課題について考え、表現している。 c:家族・家庭のあり方を検討する技術を身に付けている。 d:家族、家庭の意義や、社会の関わりを理解し、自分の問題として捉えることができる知識を身に付けている。	授業観察 ノート 定期考査
	経済生活を営む	○　職業生活を営む ＊経済的自立について ○　家庭の経済生活 ○　現代の消費社会 ＊契約と契約トラブル ＊消費者をめぐる問題 ○　消費者の権利と責任 ○　これからの消費生活環境	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○	a:消費生活に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:消費生活における、契約の重要性を理解し、課題解決を図ることができる。 c:消費者の仕組みを理解し、関連する知識を役立てられる。 d:消費生活と家庭経済についての知識を理解している。	授業観察 ノート ワークシート 自己評価 相互評価 定期考査
	衣生活をつくる	○　被服の役割を考える ＊被服の機能 ○　被服を入手する ＊被服の材料と性能 ○　被服を管理する ＊洗濯・仕上げ・保管 ○　これからの衣生活 ○　布を用いた生活の知恵 ＊和服の文化と縫製技術	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:健康で快適な衣生活に関心を持ち、意欲的に取り組める。 b:衣生活に関する課題を見出し、解決方法を表現できる。 c:被服の購入から再資源化について、補修や管理等の技術を身に付けている。 d:被服の機能、役割、管理について、科学的に理解し、知識を身に付けている。	授業観察 ノート ワークシート 自己評価 相互評価 定期考査 製作品
	ホームプロジェクト	○　ホームプロジェクト ＊自由テーマ 調査研究・個人発表	○	○	○	○	a:ホームプロジェクトに関心を持ち主体的に学習している。 b:生活の課題を見出し、解決方法を科学的に探求している。 c:計画に従って実践し、発表する。 d:実践に必要な知識を身に付けている。	レポート 発表 自己評価 相互評価

2学期	食生活をつくる	○　食生活の課題を考える ○　食事と栄養・食品 ○　食生活の安全と衛生 ○　これからの食生活 ＊食の安全性 ○　調理の基本と調理実習 ＊調理実習は4回（防災食含6～2月）	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○	a:健康で安全な食生活の学習に、意欲的に取り組んでいる。 b:食に関する情報を判断し、安全な食生活ができる。 c:調理法を学んだ上で、調理技術を身に付けている d:実験・実習を通して、知識を理解している。	授業観察 ノート ワークシート 調理計画 実習記録表 自己評価 相互評価 定期考査
	住生活をつくる	○　住生活について考える ＊住居の機能と平面図 ○　住生活の計画と選択 ＊安全で快適な住生活 -防災について考える-	 ○	○ ○	 ○	○ ○	a:住生活に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:災害に強い家作りや、対策を考え、工夫できる。 c:住居情報を収集、分析、整理する技術を身に付けている。 d:安全・快適な住生活に必要な知識を身に付けている。	授業観察 ノート ワークシート 自己評価 相互評価 定期考査
	子どもと共に育つ	○　子どもの育つ力を知る ＊子どもの心身の発達 ○　親として共に育つ ○　子どもとの触れ合い ○　これからの保育環境 ＊現代の子育て環境 ＊子どもの権利と福祉 -幼児虐待から考える-	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	a:子どもの発達と保育に関心を持ち、意欲的に学んでいる。 b:保育関連の地域や家庭の課題への解決方法を考えている。 c:子どもと適切に関われる技術を身に付けている。 d:保育における親の役割を理解し、知識を身に付けている。	授業観察 ノート ワークシート 製作品 自己評価 相互評価 定期考査
3学期	高齢社会を生きる・共に生き共に支える	○　高齢期を理解する ○　高齢者の心身の特徴 ○　これからの高齢社会 ○共に生きる ＊共生社会とノーマライゼーション ＊学校家庭クラブとしてボランティア活動を実践する	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:高齢社会や共生に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:ノーマライゼーションの考え方から、高齢社会や共生社会に何ができるか考え、工夫しようとしている。 c:地域のボランティア活動などの情報を収集・分析し、参加する技術を身に付けている。 d:高齢者の生活や共生社会を理解し、家族や地域社会の果たす役割を認識している。	授業観察 ノート ワークシート 自己評価 相互評価 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。